

春の星空

春分の日（3/20）を過ぎると、急に春めいた気候となります。夜空の星々に、ほんやり春かすみがかかってくるのもこの季節です。

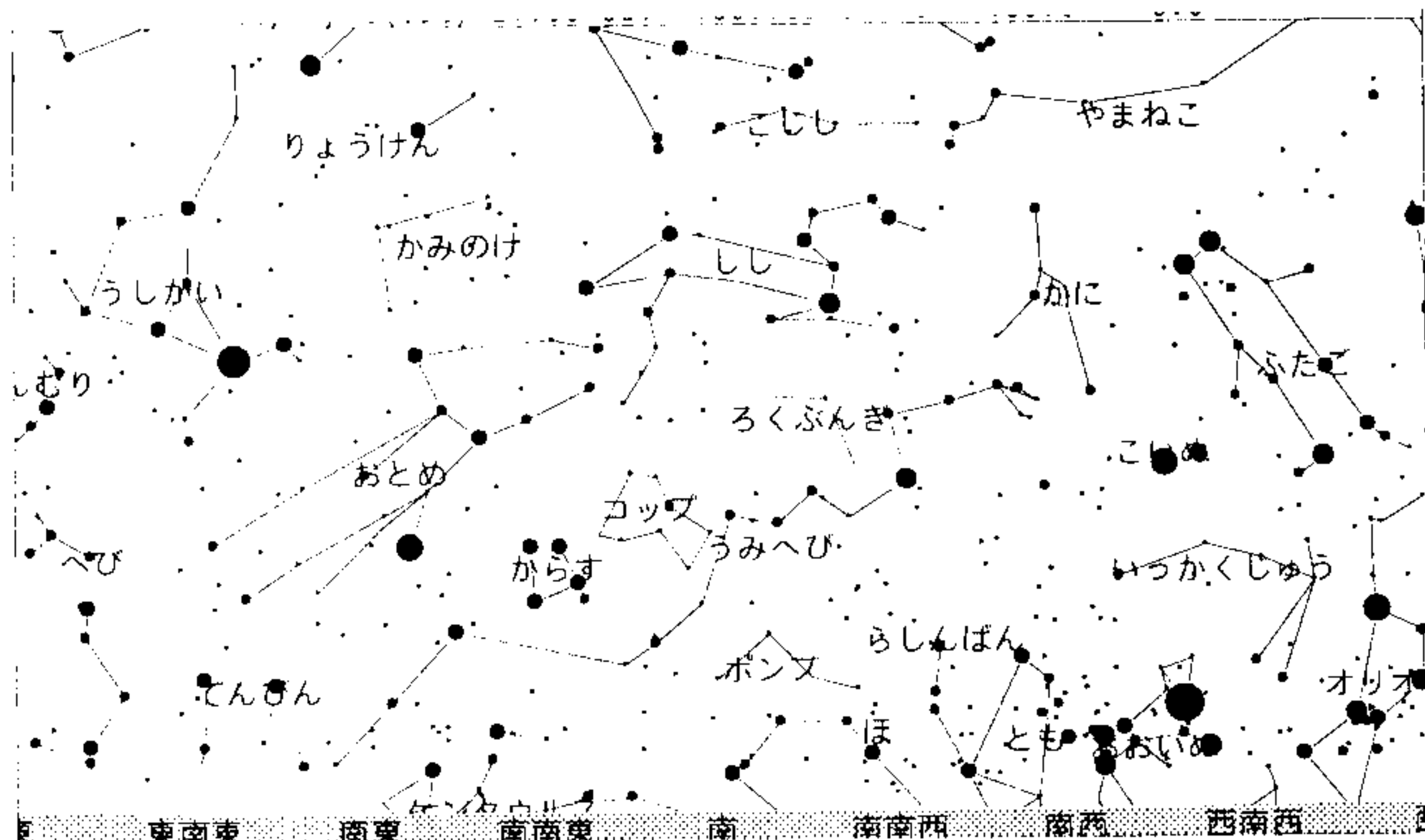
この季節、北の夜空にはおおぐま座の北斗七星が、南の夜空にはしし座、そして南のそらはるかに低い場所には、南十字星（正しくは南十字座）があります。この星は関東から見ることはできませんが、沖縄や台湾、ハワイ付近まで南下すると、真南の水平線上に南十字星が見えるようになります。もし、グアムやサイパンまで旅行する機会がありましたら高度も高くなるので南十字星がさらに見やすくなります。

<4月の星空カレンダー>

5日（水）●新月
11日（火）○上弦
19日（水）○満月
28日（金）●下弦

右の星図は、4月中旬夜9時ごろ、南の方向を中心に見た星空です。

しし座が西の方向を向いて、時間と共に静かに動いて行きます。



〔マジカル・宇宙パワー投影開始〕

※プラネタリウムで、宇宙一のスペースコメディ！

（星ってどうして光っているの？）

（星の大きさってどのくらい？）

…そんな素朴な星の疑問にお答えします。

☆☆☆☆☆☆☆☆

《天文現象》

4月6日（木）日没時に月・火星・木星・土星が集合します。

なかなか、天気が続かない春の季節ですが、6日は地球照（太陽の光が地球に当たりその光が月の暗い部分に当たって地球から薄明るく見える現象）を抱えた細い月を見ることができます。

夕方、西空の低い部分ですが、三日月の上に明るい木星、そのすぐ右に火星があるので月をめやすに惑星を探して下さい。

